

## 2021 年度女子美術大学 退職教員記念展

澁谷克彦 女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 教授



1981 年東京藝術大学卒業。資生堂宣伝部にデザイナーとして入社。数多くの化粧品ブランドのグラフィックデザイン&アートディレクションを手がけた後、クリエイティブディレクターとして「cle de peau beauty」「SHISEIDO」など、グローバルブランドの製品からコミュニケーションまでトータルのディレクションを行う。

2012 年より「花椿」のアートディレクター。その他に「KARUIZAWA MUSEUM OF PHOTOGRAPHY」「ISSEY MIYAKE」「TSUMORI CHISATO」「AYURA」「FELISSIMO CHOCOLATE MUSEUM」など。

2017 年に独立。同年より女子美術大学教授。2019 年「ヒロシマアピールズ」ポスター制作。亀倉雄策賞、東京 ADC 会員賞、東京 ADC 賞、東京 TDC 金賞、JAGDA 新人賞、JAGDA 賞、世界ポスタートリエンナーレトヤマ銅賞、NYADC 特別賞など受賞

### メッセージ

「大学はやっぱり楽しい！」 5 年間の感想です。  
何よりも、若いみなさんから  
インスパイアされることが多くて、教える立場かもしれませんが  
自分にとっては、みなさんが考えることや創り出すものに  
驚いたつながり、これからの世界を想像することができます。

おそらく大学ってそういうところですよ。  
これからの世界に新しい価値や動きをつくるため  
この場所で化学変化をたくさん起こして  
世の中にまだ無い、これからのに必要なものを見つける。

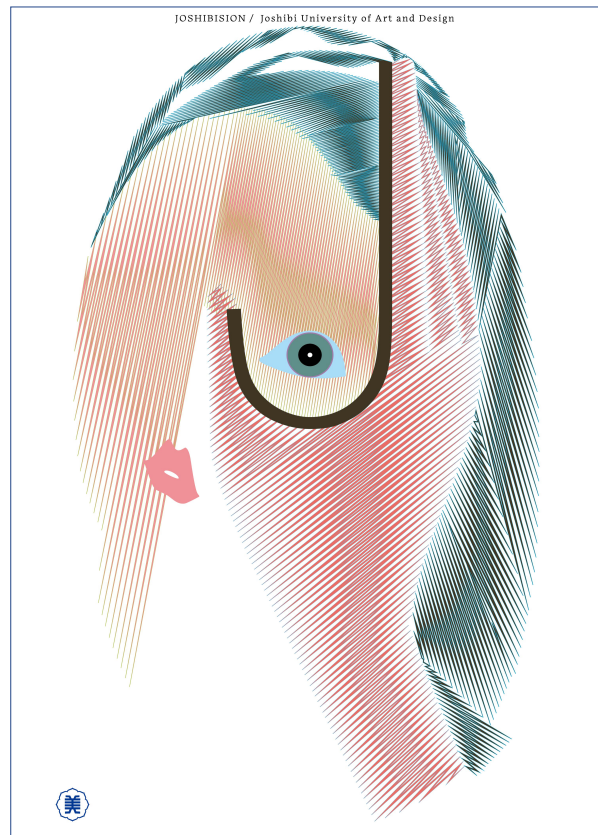
みなさんは何もできないのではなく  
できることの断片がありすぎることを  
わかっていないのだと思います。

その断片がつながることはあなたの出来るが増えること、  
それを教えてくれたり気づかせてくれる人が大学の中にたくさんいます。  
だからぜひ、たくさんの人と関わってください。

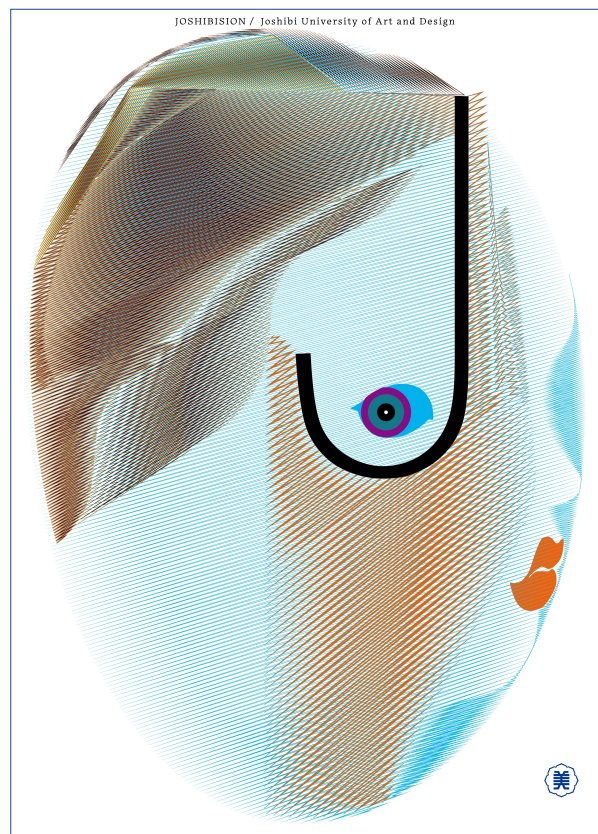
顔を上げて元気に行きましょう。

2021 年度女子美術大学退職教員記念展  
女子美アートミュージアム展示の様子 (瀬谷克彦)





《J》  
2020 年



《J》  
2020 年